

はじめに

本書は、日本語諸方言の条件表現、逆接表現の対照研究を目的とした、調査ガイドブックである。先に『全国方言文法辞典資料編(1)原因・理由表現』(方言文法研究会編、平成19-21年度科学研究費補助金基盤研究(C)「『全国方言文法辞典』のための諸方言の文法に関する対照研究」(研究代表者：前田直子)研究成果報告書、2010年2月、<http://hougen.sakura.ne.jp/shuppan.html>)を刊行したが、条件表現、逆接表現についても、これと同様の全国共通調査および辞典項目記述を行うために、調査項目、要地方言の選定を行ってきた。本書は、その指針を示すものである。

本書の編者である方言文法研究会は、2001年に以下の方針のもとに活動を開始した。

- ・方言の文法に関する記述をより精密なものにする。
- ・全国方言の文法形式、文法現象をできる限り網羅する。
- ・方言研究者だけでなく、言語の対照研究に興味を持つ人全般に向けて情報発信する。

上記の方針のもとに、本研究会では、日本語諸方言の文法を総合的に記述する『全国方言文法辞典』の編纂を目的として、要地方言を統一的に調査するための共通調査項目を策定し、各地方言(標準語を含む)の文法的側面に関する対照研究を行ってきた。これまで、主に、上述した原因・理由表現の調査・記述を行ってきたが、今後、条件表現、逆接表現の調査・記述を進め、順接・逆接の接続表現の総合的な記述を完成させたいと考えている。

本研究会の活動の詳細については、以下のサイトをご参照いただきたい。

<http://hougen.sakura.ne.jp/>

本書は、科学研究費補助金基盤研究(B)「日本語諸方言の文法を総合的に記述する『全国方言文法辞典』の作成とウェブ版の構築」(課題番号：21320086・研究期間：平成21(2009)～平成25(2013)年度(予定)・研究代表者：日高水穂)の研究成果報告書として刊行するものである。

研究代表者：日高 水穂 (秋田大学 教育文化学部・教授)

研究分担者：小西いずみ (広島大学 教育学研究科・准教授)

船木 礼子 (神戸女子大学 文学部・准教授)

吉田 雅子 (国立国語研究所 時空間変異研究系・奨励研究員)

竹田 晃子 (国立国語研究所 時空間変異研究系・非常勤研究員)

林 良雄 (秋田大学 教育文化学部・教授)

連携研究者：大西拓一郎（国立国語研究所 時空間変異研究系・教授）
三井はるみ（国立国語研究所 理論・構造研究系・助教）
前田 直子（学習院大学 文学部・教授）
小柳 智一（聖心女子大学 文学部・准教授）
青木 博史（九州大学大学院 人文科学研究院・准教授）
山田 敏弘（岐阜大学 教育学部・准教授）
高木 千恵（関西大学 文学部・准教授）
松丸 真大（滋賀大学 教育学部・准教授）
中本 謙 （琉球大学 教育学部・准教授）
仲原 穰 （琉球大学大学 教育センター・非常勤講師）

本書で示す調査項目は、日高、小西、船木、吉田、竹田、三井、高木からなる作業グループが作成した原案を、メンバー全員で検討して選定したものである。今後は、上記のメンバーが中心となって、要地方言の共通調査を実施し、方言間または古典語との対照研究を行っていく計画である。

ただし、最終的な『全国方言文法辞典』を成すためには、より広く諸方言の情報を収集していく必要がある。本書刊行の目的の一つは、上記のメンバーを超えて、本書で示した共通調査項目を活用していただき、情報提供のご協力を仰ぎたいと考えたことにある。そのために、現在、調査結果の情報を即時的に共有できるようにするためのウェブ入力システムの構築を進めている。本書では、そのシステムの概要についても、あわせて紹介する。

今後とも多くのご教示をいただきながら、本研究を進めていきたい。

2010年9月
方言文法研究会